



2017年5月11日

各位

会社名 雪印メグミルク株式会社
代表者名 代表取締役社長 西尾 啓治
(コード番号 2270 東証第1部・札証)
問合せ先 広報 IR 部長 渡辺 滋
(TEL 03-3226-2124)

雪印メグミルクグループ「グループ長期ビジョン 2026」
「グループ中期経営計画 2019」および「雪印メグミルクバリュー」の策定について

雪印メグミルクグループは、本日、「グループ長期ビジョン 2026」、その第1ステージの実行計画として「グループ中期経営計画 2019」、および役員職員共通の姿勢・価値観として「雪印メグミルクバリュー」を策定しましたので、その内容についてお知らせいたします。

I. 「グループ長期ビジョン 2026」(2017年度～2026年度)

1. 目指す姿

「グループ企業理念」の実現に向け、10年後に目指す姿を次のとおり決めました。

「ミルク未来創造企業へ」 消費者と酪農生産者と私たち、3つの未来を目指す	
消費者	「乳(ミルク)で食の未来を創造します。」 乳(ミルク)の持つ無限の可能性を引き出し、「ものづくり」を通じて、 世界の人々に「食の喜び」を提供し続けます。
酪農生産者	「酪農生産者の未来に貢献します。」 酪農生産者の良きパートナーとして、酪農・乳業の持続可能な成長へ 貢献を続けてまいります。
私たち	「私たち社員の未来を拓きます。」 多様な人材が希望と誇りを持って、それぞれの個性と能力を最大限に 発揮しながら、成長し続ける企業グループを目指します。

2. コンセプト

Transformation & Renewal 「変革」、そして更なる「進化」へ	
<3つのポイント>	
①事業ポートフォリオの変革	= Transformation
②事業成長を支える生産体制の進化	= Renewal
③グループ経営の推進	= Group Management

これらのコンセプトを実行していくために、グループの事業領域を、「乳製品」「市乳」「ニュートリション」「飼料・種苗」の4つの事業分野に再編成を行ない、グループ企業との連携により、グループ・バリューチェーンを強化します。

3. ステージ毎の位置づけと役割

「グループ長期ビジョン 2026」の取組み期間である 2017 年度から 2026 年度を3つのステージに分けて推進します。

	第 1 ステージ (2017 年度～2019 年度)	第 2 ステージ (2020 年度～2022 年度)	第 3 ステージ (2023 年度～2026 年度)
位置 づけ	Transformation (変革) の始動 ----- グループ経営 の始動・推進	Transformation (変革) の加速 ----- グループ経営 の展開強化	Renewal (進化)へ ----- グループ経営 の加速・進化
	役割	<ul style="list-style-type: none"> ・収益基盤の複数化およびキャッシュフロー最大化 ・生産体制進化への着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・収益基盤の確立 ・生産体制進化の本格始動

4. 10 年後(2026 年度)のゴールイメージ

経営指標	2026 年度目標数値
連結売上高	7,000 ～ 8,000 億円
連結営業利益	300 ～ 400 億円

10 年後の財務指標は、連結ROE 8%以上、連結自己資本比率 50%以上、および連結配当性向 30%以上を目処とします。また、10 年間の投資総額は 3,000～4,000 億円とします。

II. 「グループ中期経営計画 2019」(2017 年度～2019 年度)

1. 基本戦略

「グループ長期ビジョン 2026」に基づき、その第 1 ステージ(2017 年度～2019 年度)として取り組みます。

(1) 事業ポートフォリオ変革

「乳製品」事業分野	<ul style="list-style-type: none"> ①バターの安定供給とブランド強化 ②チーズのボーダレス展開による更なる成長
「市乳」事業分野	<ul style="list-style-type: none"> ①機能性を軸としたヨーグルトの戦略的拡大 ②プロダクトミックスの最適化
「ニュートリション」事業分野	<ul style="list-style-type: none"> ①機能性食品事業の成長モデル構築 ②価値訴求による粉乳事業の競争力強化
「飼料・種苗」事業分野	<ul style="list-style-type: none"> ①種苗事業の戦略的拡大 ②飼料事業の効率化による収益性向上

(2) 事業ポートフォリオ変革を支える戦略

- ① 戦略的な調達・生産体制構築による競争基盤の確保
- ② 研究開発起点の「ものづくり」による新たな価値の創造
- ③ 人材の多様性を尊重した生産性の高い組織の構築
～成長を支える人材の育成と働き方改革の推進～
- ④ グループ経営資源活用による競争力・総合力の最大化

2. 中期経営指標

経営指標	2019 年度目標値
連結売上高	6,300 億円
連結 EBITDA	400 億円
連結営業利益	220 億円

3年後の財務指標は、連結ROE 8%以上、連結自己資本比率 40%以上、連結配当性向 20%以上を目処とします。また、3年間の投資総額は 770 億円とします。

III. 「雪印メグミルクバリュー」

「グループ長期ビジョン 2026」を達成するため、雪印メグミルクグループの役職員一人ひとりが大切に考える共通の姿勢・価値観として、次のとおり定めました。

主体性	自分から動き出そう。 私を実現したい未来のために。
チャレンジ	チャレンジを楽しもう。 なりたい私の未来のために。
チームワーク	チカラを重ねよう。 私たちみんなの未来のために。

IV. 特記事項

雪印メグミルクグループ「グループ長期ビジョン 2026」、「グループ中期経営計画 2019」、および「雪印メグミルクバリュー」の説明資料につきましては、以下の弊社ウェブサイトでご覧頂けます。

<http://www.meg-snow.com/ir/strategy/>

以 上

本資料に記載されている業績目標などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。